

## 四国支部 「国道 197 号新野越トンネル工事」 現場見学会の報告

四国支部において 11 月 18 日に「国道 197 号新野越トンネル工事」現場見学会を開催しました。

当日は 22 名の方々に参加していただき、13 時 30 分から 3 時間ほどかけて工事概要説明、現場見学、意見交換を実施しました。

当工事の工事概要は次の通りです

1. 現場名 : 国道 197 号社会資本整備総合交付金（新野越トンネル）工事
2. 施工者 : 轟・田邊・杉本特定建設工事共同企業体
3. 発注者 : 高知県
4. 工事場所 : 高知県高岡郡津野町（高野）～梼原（神在居）
5. トンネル概要 : 延長 796m 発破掘削 NATM 国道 197 号の直下を横断、一部で直上に民家

はじめに福田所長より工事概要説明があり、「仏像構造線の影響を受けて、多くの断層を伴い複雑な地層分布を呈しているため、前方調査をしながら慎重に掘削を進めていること」、また、「従来にない綺麗なトンネル現場を目指し取り組んでいること」について、特に熱く語ってもらいました。

その後、全員で現場見学をさせてもらいました。現場は掘削がおよそ 300m 進んでおりましたが、確かに坑口ヤードから切羽まで行き届いた管理がなされており、見学者から感歎の声があがっておりました。特に、現場をきれいにすることが、品質や安全性の向上、また効率の向上に直結していることが、見学者を引き付けたようです。

事務所では、各現場に共通する課題や、現場をさらにグレードアップする案などについて活発な意見交換がされ、当研究所本来の活動ができたかと考えております。

一般国道 197 号の高知県内区間につきましては、梼原町・津野町地域の中核的社会資本であると同時に緊急輸送路としての役割を担っています。野越バイパス計画区間は、すでに 2 車線に改築されていますが、現在の野越及び神根越の両トンネルは幅員が狭く、大型車両は対面通行が困難であり、また、明かり区間は冬季の積雪や凍結による事故や立ち往生が頻繁するため、当新野越トンネルでのトンネル 1 本化による道路改良が待たれており、心より順調な進捗を祈念します。

本見学会は「土木学会継続教育（CPD）プログラム」の認定を受けています

（記録 地域活動部会四国支部 福家（新日本開発株式会社））



福田所長の工事説明状況



坑口ヤードの見学状況



切羽付近の見学状況



見学後の和気あいあいとした意見交換